

# Flying High

横須賀学院高等学校フライングハイ

Winter  
2022



■ 特集  
S選抜コース  
インタビュー

■ 注目のクラブ活動 女子バドミントン部  
■ 2023年度入試 傾向と対策

## 2023年度入試に関して

2023年度入試については、感染対策を講じた上で、従来通りの入試を行う予定です。  
新型コロナウイルスの感染状況によっては変更の可能性があります。  
その場合、ホームページ等でお知らせします。

### 2023年度 横須賀学院高等学校 入試内容

区分	試験方式	試験日	合格発表日	入学試験内容	
推薦	推薦	1月23日(月)	1月24日(火)	面接・作文(事前提出)	
一般 (併願)	書類選考	2月10日(金) 来校の必要なし	2月11日(土・祝)	志望理由書・ 課題作文(事前提出)	
	I期A進学	チャレンジS選抜	2月10日(金)	2月11日(土・祝)	国語・数学・英語
	II期S選抜	チャレンジ スカラシップ	2月11日(土・祝)	2月12日(日)	国語・数学・英語
	アビリティ		2月12日(日)	2月13日(月)	国語・数学・英語

### 2023年度入試に関するQ&A

- Q. 試験当日、体調不良で欠席する場合にはどうなりますか。  
A. 在籍する中学校から、横須賀学院に必ず連絡をしてもらうようにしてください。状況を伺ったうえで、受験生の不利にならないように対処します。
- Q. 新型コロナウイルス感染または濃厚接触者のために、公立高校入試の追試験を受験した場合にはどうなりますか。  
A. 中学校からの連絡があった場合に限り、公立高校合格発表まで入学金等の支払い期限を延長します。ただしシステム上、入学手続きはしていただくことになります。
- Q. 「I期A進学」受験者全員に、S選抜コース合格のチャンスがあるのですか。  
A. 全員ではありません。出願時に「I期A進学(チャレンジS選抜)」を選択した受験生のみで判定します。判定を希望する場合には、出願時に注意してください。
- Q. 「アビリティ」以外、オープンでの受験はできないのですか。  
A. 基準値に満たない場合でも、「I期A進学」「II期S選抜」をオープンで受験することは可能です。
- Q. 重複での受験はできますか。  
A. はい、できます。例えば2月10日に「I期A進学」を受験し、奨学金のチャンスを狙って、11日のII期S選抜をオープンで受験することなどが可能です。なお、追加の受験料は必要ありません。



## 横須賀学院高等学校

〒238-8511 横須賀市稲岡町82 TEL.046-822-3218 FAX.046-824-9634  
<https://www.yokosukagakuin.ac.jp> facebook 横須賀学院中学高等学校



# 特集 S 選抜コース Interview

横須賀学院高等学校には、S 選抜コース、A 進学コースが設けられています。今回は、S 選抜コースの生徒の皆さんに集まってもらい、コースの特徴や雰囲気など様々なお話をしてもらいました。

高校1年

齋藤 琴菜さん  
(横浜市立金沢中学校出身)

高校2年

鈴木 ひかるさん  
(横須賀市立武山中学校出身)

高校3年  
鈴木 泰剛さん  
(横浜市立南中学校出身)



## S 選抜コースの印象やクラスの雰囲気について教えてください。

鈴木 (ひ) 1年生の頃は、7時間目の授業が週に4回あったり、模試や休暇中の講習などがあってA 進学コースに比べて勉強している時間は長いです。授業のレベルも学年が上がるにつれて、自分の目標とする大学が試験に課す内容の科目が増えていきます。

齋藤 定期テストに加え、河合模試や小テストも定期的に行われているので、学力の定着が図れていると思います。忙しい分、しっかりと根気強く勉強ができるコースです。進路についても早くから考える機会が多いので、やらなければならないことは多いですが自分の目標に向かって学力を向上させるにはとてもいい環境だと思います。

鈴木 (泰) 忙しさは確かにあります。しかし、私は軽音楽部で3年間活動をし、部長を務めていました。ついこの間も、文化祭で学生生活最後の演奏ができましたし、充実した学校生活を送ることができています。それに、私の代のクラスの雰囲気は先生からは、選抜コースっぽくないといわれます。休み時間は友達同士ではしゃいでいる人もいますし、真面目という印象だけではありません。そんな雰囲気があるので、勉強は大変ですが学校に来るのは毎日楽しいですね。

鈴木 (ひ) 私の代は、静かな人が多いですね。もしかしたらこちらのほうが、S 選抜コースらしいのかも (笑)。

齋藤 私も料理研究部に所属していて、活動を調整しやすい部活動なので両立できています。ただ、活動日の多い部活動だとなかなか忙しい場面もあるかもしれません。

先生 S 選抜コースは3年間、教員も含めてほとんどメンバーが変わりません。文系も理系もS 選抜コース、SS 選抜コースも壁がなく、長く濃く付き合うことができます。その分、お互いの理解も深まります。例えば、文化祭の準備の際にも、塾や予備校など学校以外の予定がお互いあることを承知しているので、相手のことを思いやって、予定を調整しながら行動できる生徒が多い気がします。緩い部分があってもしっかり締めるところは締められる、自分の責任を考えて行動できるメリハリのある生徒が多いです。



進路指導部長 朝山 一人先生

## S 選抜コースを選んだ理由について教えてください。

齋藤 A 進学コースにするか、S 選抜コースにするかものすごく迷いました。ギリギリの成績で入学することになったので、人よりもすごく悩んだと思います。追いつけるか、ついていけるか不安がたくさんありましたが、勉強に力を入れることでその不安を少しでも自信に変えたいと思ったので、最終的にS 選抜コースに決めました。いざ学校生活が始まってみると、同じクラスの人たちは明るく賑やかな人が多く、雰囲気が良くて安心しました。

鈴木 (ひ) 私はA 進学コースではなく、S 選抜コースに入って一般受験の対策を万全にしつつ、推薦を狙うという道を選びました。もともと、勉強が苦手だったのですが、中学で塾に入って勉強していくうちに楽しくなり、より高みを目指したいという気持ちが強くなったのも理由の一つです。やはり、S 選抜コースなら、より勉強に向ける意識が高い人たちが集まってくるだろうと思い、そうした環境に身を置くことでレベルアップしていきたいと思いました。



鈴木 (泰) 私は、せっかく入学したのなら、この学校で得られるものはすべて得て、レベルの高い大学に進学したいという思いでS 選抜コースを選びました。推薦を狙うよりも一般受験でも合格できる力を身につけておきたいという思いが強いです。先ほどの話にもあったように、S 選抜コースは勉強に時間を多くとることができます。実際に3年間過ごしてみて、力が付いていると実感する場面が多かったです。友人に勉強を教えて欲しいと頼まれることもあり、以前の自分よりも成長しているのだと実感しています。

先生 S 選抜コースを選ぶ人には、ただ単に一生懸命目の前の勉強をするだけでなく、自分と向き合って将来のこと、やりたいことなどを考えられる生徒になってほしいと思っています。自分のやりたいことを実現できる学力をつけて、親や先生を説得して将来の夢を自らがつかんでほしいですし、そんな姿がS 選抜コースの生徒のあるべき姿かなと思います。

## SS 選抜コースはどんな特徴がありますか。

先生 3年次にはSS 選抜コースを選択できるようになります。自分の適性を考え、自分のやりたいことが明確にあり、それが実現できるのは国立だという思いが強い人は、SS 選抜コースをお勧めしています。国立を目指す場合は、多くの大学が5教科7科目を課しています。ただ、教科数が多いということは考え方によってはリスクを分散できるともいえます。一つ苦手な科目があっても、ほかの科目を少し底上げするだけで苦手をカバーできますよね。私立などの3教科3科目では、1科目でもできないものがあれば、大きなダメージになります。特段、苦手な科目がなく、広くある程度の理解できる科目が多いような人には国立をお勧めしていますし、SS 選抜コースを選んでさらに伸ばしてほしいと思っています。



## 日々の学習の中で大切にしていることや工夫していることはありますか。

鈴木 (泰) 将来やりたいことを早い段階で決めて、目標を設定することです。そうすると、自ずと必要な勉強が見えてきて、取捨選択できるようになります。将来を見据えて、必要な分野により時間を割いて注力することで、効率よく勉強できてきたのかなと思います。漠然と目の前の勉強に手を付けていってしまうとモチベーションも上がらないですし、膨大な分量に忙殺されてしまい、精神的にもきつくなってしまうのかなと思います。私は

## Club Activities Report 女子バドミントン部



国語の先生になりたいという夢があります。2年次の担任で国語の先生でもある朝山先生に相談したところ、自分の目標とする大学が的確に絞られて進路が明確になりました。そして早くに目標が決まったことで、精神的にも余裕をもって効率的に勉強できてきたのだと思います。



**鈴木 (ひ)** まず、第一に心がけていることは、授業で得られることはしっかりとすべて授業の中で習得することです。授業以外のところでその分の勉強をしてしまうのは時間のロスですし、もったいないと思います。また、もう一つ心がけているのは、“小テストで必ず満点を取る”ことです。テストや模試では漢字の読み書きや英単語の知識を問う問題も出てきます。そうした、細かい部分は、小テストでつぶしておくことが大切です。その分長文問題などに時間を割くことができますし、小さなところで失点せずに確実に点数を取ることが重要だと思います。また、わからないことがあれば、そのままにせず、すぐに先生に聞くことも大切です。横須賀学院の先生は寄り添って理解するまで付き添ってくれるので、しっかり理解することができます。

**齋藤** 私は中学校の時から勉強では、すべてを理解しようとしてしまうからこそ色々なものに手を出してしまい、時間がかかってしまう傾向がありました。S選抜コースには、効率的な勉強方法をしっかりと確立できている人が多くいます。そうした友人にどうやって勉強しているのか聞いて回り、自分なりの勉強方法を確立しようと頑張っています。周囲からも学べる機会が多いのもS選抜コースのいいところだと思います。努力次第で入ってからきちんと学力を高めていける環境が整っているので、そこは安心して進んでほしいなと思います。

## 将来の夢や今後の目標について 教えてください。

**鈴木 (ひ)** 私は現在、難関大学合格に向けて日々勉強に励んでいます。もともとは別の大学を考えていたのですが、友人や先生方が「もっと上を目指せるよ」と難関大学を何度も勧めてきてくれたこともあり、目指してみようと思うようになりました。今は現代文が苦手なので、模試の問題文や過去のプリントなどを活用し、放課後を使って勉強をしています。次の模試で結果を出し、自分の親に堂々とこの大学に入りたいといえるように頑張っています。

**齋藤** 小さなころから私の知り合いに薬剤師が多くいて、仕事をする様子をみる機会があったこともあり、薬剤師になってみたいなど今は思っています。横須賀学院は1年生の頃から進路を相談できる機会が多く、先生に相談しているいろいろな情報を得ることができました。こうした進路への指導は本当に手厚いので、これからたくさん学んで夢に向かって文理選択やコース選択をしていきたいと思っています。

## 新入生にアドバイスをお願いします。

**鈴木 (泰)** 先を見据えて勉強に励みたいのであればS選抜コースをお勧めします。もちろんA進学コースでも自分の努力次第で力をつけることはできると思います。ただ、やろうと決めるときにサポートしてもらえる機会の手厚さはS選抜コースのほうがよりよいです。ここまで私が頑張れてこれたのも、周囲の環境の良さもありますが、ひとえに先生方のサポートのおかげだと思っています。自分のやりたいことや、思いと照らし合わせながらじっくりコースを考えてもらおうと、より高校生活が充実したものになると思います。

**齋藤** ここまでの話の中でついていけないか不安になった人もいるかもしれませんが、その不安な気持ちを分かち合える仲間が多くいますし、勉強を頑張ろうという気持ちをサポートしてくれる環境は本当に手厚く整っています。また、私も実践しているのですが、いろいろ考えてしまって頭がいっぱいになった時は、紙に書いて整理することがお勧めです。高校3年間はあっという間だと思います。部活動や文化祭など学校生活を充実させたいのか、大学や将来を見据えてより勉学に力を入れたいのか、自分が高校でどう過ごしたいのかをある程度入学前に考えておくといいと思います。



**鈴木 (ひ)** 周りに流されないことが重要だと思います。高い目標を目指して勉強する場合は時には、孤独だと感じることも多いです。自分の目標を実現するためには、周りがまだ勉強していない時期でもスタートダッシュを切らなければならないこともあります。しかし、それは意識の速さが違うだけで、孤独なわけではありません。みんなと違うから不安に思うかもしれませんが、自分はだれよりも早く将来を意識し、先頭を走っているだけだと自信をもって欲しいです。周りに流されずに、自分の意志と目標を信じて頑張してほしいと思います。

**S選抜コースのみなさんは、忙しい中でも、それぞれの思いや目標に向かって工夫し、努力されている姿がお話から伺えて、とても頼もしく感じました。そんな努力があるからこそ、学校生活においても楽しく充実した毎日を過ごされているのでしょう。**



## 部員同士はライバルであり 友達でもある

部長 高校2年  
**吉川 友梨さん**  
(逗子市立逗子中学校出身)

私は部長として号令や指示出し、顧問の先生と練習メニューの考案などに日々取り組んでいます。中学校に入った時に兄がバドミントンをやっていたことがきっかけで興味を持ち、始めました。中学では地区大会で優勝するなど、結果を残すことができました。横須賀学院のバドミントン部は先輩後輩の垣根を越えて、なんでも言い合える雰囲気があります。一方で、部の目標、個人の目標に向かって一体感をもって厳しく練習する雰囲気もあり、メリハリのある部活だと思います。現在、横須賀・三浦地区の大会で1位・2位の選手が在籍しています。それが部全体のモチベーションアップにつながっていますし、部内でも互いに切磋琢磨して高めあえています。部員同士がライバルでもあり友達でもあるという、いい環境ができていて感じています。毎日練習の前にその日の目標を立てることで、日々達成感を味わいながらステップアップできるように工夫しています。去年は、関東大会に出場することができました。今年は2年連続関東大会出場を目指し、さらに1勝することを目標に日々練習に励んでいます。



## 優しく頼れる先輩の存在が 安心感につながる

高校1年  
**下城 日奈向さん**  
(横須賀市立鴨居中学校出身)

横須賀学院のバドミントン部は、本当に先輩方が優しいです。先輩とダブルスを組んだこともあるのですが、優しくアドバイスをしてくれます。小さなところかもしれませんが、すごく優しさを感じます。試合でメンタル的に苦しい場面でも、応援席にいる先輩や部員の顔を見るだけで安心します。強い人が多いですが、厳しすぎることもなく、明るく優しい雰囲気部内にはあります。ただ、高い目標を掲げているので、練習メニューは厳しいです。フットワークのトレーニングなど基礎能力をしっかりと高める練習が多いと感じます。練習のおかげもあって届くかギリギリの球も打ち返せるようになりました。最近やっと試合に出られるようになったので、私は個人的な目標として、団体戦のメンバーになることを掲げています。中学校の頃に、他校で強くてあこがれていた先輩が、今偶然同じ部活にいます。毎日間近で観察し、なぜ強いのか真似て自分の成長につなげています。目標に向けて成長できる環境が整っていると感じます。きついこともありますが、毎日がとても楽しいです。

## OG Message

前部長  
高校3年  
**安土 莉央さん**  
(横浜市立  
東永谷中学校出身)



今のバドミントン部の様子を見て、私が在籍していたころよりも急に強くなった印象があります。顧問の大島先生とともに高い目標を掲げて、日々練習に励んでいるからこそだと思います。バドミントン部に在籍していたころは「練習が嫌だな」と、感じることも多くあったのですが、いざ離れてみると「楽しそうだなあ」と羨ましくも思います。顧問の大島先生は、とてもよく生徒に寄り添ってくれる方です。私は今、受験勉強に励んでいるのですが、進路指導でも先生にお世話になっています。練習の時は厳しかったですが、勉強では優しく目標に向けた進路サポートをしてくれます。高い目標の難関大学にも合格できるのではないかと、いい意味で勘違いできます(笑)。引退して環境は別になりましたがぜひ、後輩たちも高い目標に向かって、頑張してほしいと思います。応援しています!

## Teacher's Message

## 文武両道の部活動

バドミントン部顧問  
**大島 英輝先生**

部員たちには、バドミントンだけでなく、勉強にもしっかりと取り組むように指導しています。練習の方針としては、部員たちの自発性を尊重したいと考えています。こちらから目標を示すのではなく、部員自身で考えてもらい、その目標に合わせた練習メニューを組んでいます。現在の3年生の目標は県ベスト8でしたが、関東大会にも初出場し、インターハイ県予選では、女子団体戦で目標を超える県3位まで勝ち上がりました。現チームの目標は、2年連続関東大会に出場し、さらに1勝することです。現在のチームになってからまだ時間が浅いので足りない部分もありますが、目標に向けて頑張っています。

# 2023年度入試 傾向と対策

国語	I期進学	II期選抜
2022年度入試について	文章量・設問形式は例年通りであり、平均点も前年度と大きく変化はありませんでした。漢字は常用漢字からの標準的な出題ですが、毎年正答率は低いです。しっかりと対策をしてもらいたいです。評論は「愛」という概念について言及する文章であり、抽象的な内容を理解する力が求められました。小説は文章も設問内容も比較的簡単なものでしたので、どれも落としてほしくはない問題でした。古典は、例年通り教科書レベルの基本的な語彙や日本文学史を問うています。しっかりと基礎固めをしていれば解答できるでしょう。	漢字の読み書きは、答案の出来不出来が顕著に現れていました。他の人との得点差を広げられないためにも、しっかりと対策をおきましょう。評論は、「疑似科学」の事例をもとに、「疑うこと」を教育する大切さを主張する文章でした。問九では、本文と資料の比較を問う問題を出題しています。複数テキストを用いた問題は、今後も出題される可能性があります。小説では、表現技法や語句の意味といった知識事項、登場人物の心情理解についてなど、小説読解において必要な力を広く問いました。また、今年も記述問題を出題しています。古典は江戸時代の随筆『玉勝間』を出題しました。物語文と異なるので、読みにくかった生徒もいたのではないのでしょうか。内容理解のためにも、単語の意味や仮名遣いなどの知識事項をしっかりと学習しておくといでしょう。
2023年度入試展望	出題形式、内容について大きな変更は行いません。漢字の得点率で差がつくことが多いので、中学教科書巻末の「常用漢字表」や「中学校で学習した漢字一覧」等を参考に、日々学習に励んでください。評論・小説の文章読解においては、接続語や指示語の内容などを問う基本的な問題から、内容読解や内容合致に関する応用問題まで幅広く出題します。文脈をしっかりと捉えて丁寧に読解する練習をおきましょう。日頃からわからない語句を国語辞典で調べるなど、基礎的な国語力を身につけておくことも肝要です。古典は、主語に注意しながら丁寧に読解し、内容やテーマをきちんと掴むことが大切です。	出題形式・内容について大きな変更は行いません。評論を読むにあたって、指示語や接続語をはじめ、意味段落等に注目して、全体の内容を把握することが重要です。日頃から長文に取り組み、それに慣れることで、すばやく的確に内容を理解できるだけの語彙力や文法力を高めてください。小説は、自己の主観を持ちこむのではなく、客観的に文章内容を読み取る姿勢を身につけてください。記述問題に対しては、設問の条件をよく理解し、本文中にある複数の要件をしっかりと見つけて解答を作成する練習をおきましょう。古典では、主語に注意しながら丁寧に読解し、内容やテーマをきちんと掴むことが大切です。

数学	I期進学	II期選抜
2022年度入試について	出題傾向・難易度は例年通りでした。中学校で学習した各分野の基礎から応用までバランスよく出題しています。22年度は基本問題の正答率が上昇したことにより高い平均点となりました。適切な数式の利用によって正答を導ける計算力が身につけていると言えるでしょう。一方で全体的にケアレスミスの多い答案もあったので、よく見直し確認する習慣をつけましょう。小問集合の他に3題の大問があり、大問2の関数と図形の融合問題はやや難易度が高く、解答欄には誤答や空欄が目立ちました。基本だけでなく、標準から応用の問題までしっかりと対策をすることが大切です。	出題傾向・難易度は例年通りでした。中学校で学習した各分野からバランスよく出題し、基本問題に加えて応用問題も多く扱っています。基礎的な問題は正答率が非常に高いため、それ以外の問題の正答率の差が得点差に大きく影響したと考えられます。小問集合の他に3題の大問があり、大問4の平面図形の計量問題で出題した記述式による解答は、大きな差が見られました。求める内容をしっかり捉え、図や式を用いて途中経過を丁寧に記述できる力が必要となります。空欄解答も目立ちましたので、記述対策は行ってほしいと思います。
2023年度入試展望	出題範囲は中学校の既習事項全般です。今年度も例年の出題傾向と大きく変わらないので、過去の入試問題を解いてみるのが必須です。出題傾向を掴むと同時に、時間配分にも意識して時間内に解答できるよう練習しましょう。基礎力をしっかりと固め、ケアレスミスなどないよう正確に解く力をつけてください。苦手分野がある人はその分野を優先的に演習して苦手を克服することで、全体の底上げに繋がります。また、標準・応用問題にも積極的に取り組みましょう。できなかった問題は繰り返し学習するのが効果的です。	出題範囲は中学校の既習事項全般です。今年度も例年の出題傾向と大きく変わらないので、過去の入試問題を解いてみるのが必須です。基本事項が確実に身につけているかを確認するとともに、「数学的思考力」を問う内容を出題します。標準・応用問題にも積極的に取り組み、「考える力」を培うように努めてください。また、問題を最後まで解き切る力を着実に養ってください。例年通り大問1題の最後には記述問題を含みますので、自分の考え方や答えを求める過程を順序立てて記述する練習をおきましょう。客観的に見て伝わる書き方を心掛けてください。

英語	I期進学	II期選抜
2022年度入試について	出題構成に大きな変化はありませんでした。単語は記述問題の正答率が高くなかったため、意味の確認と正しいスペルが書けるようにしておきましょう。文法問題の正答率は高く、基本的な文法項目を押さえておくことを期待しています。長文読解では語彙力を強化し、答えの根拠を意識しながら読むことができるようにしておくとい良いでしょう。最後までたどりついていない解答も見られたので、速く読むことも心掛けてください。	2022年度の平均点は21年度と比べて上昇しました。単語のつづりを書く問題は正答率が高くありませんでした。単語力は入学後も問われるものです。正しく「発音できる」、「書ける」よう練習してください。正解率に差が見られたのは文法問題でした。発展問題だけでなく基本的な問題もありますので、確実に正解できるように基礎を大切にしましょう。長文読解では語彙力を強化し、答えの根拠を意識しながら読むことができるようにしておくとい良いでしょう。
2023年度入試展望	昨年と同様の出題構成、出題レベルになる見通しです(語彙問題 20%、文法問題 40%、長文読解 40%)。単語レベル・文法レベルとも、中学で学ぶ標準的なものが出題されます。長文についても、標準的な難易度です。時間配分が上手くできるよう過去問題に取り組んでください。また、分量が多いので普段から長文に慣れるよう読解のトレーニングを積み重ねましょう。さらに、長文読解においては語彙力も重要なので、日頃から語彙力増強を心掛けてください。	昨年と同様の出題構成、出題レベルになる見通しです(語彙問題 20%、文法問題 40%、長文読解 40%)。出題レベルはI期進学よりも難しい問題もありますが、標準的な問題も相当量出題されています。基本問題から発展問題まで幅広く取り組んでください。語句・文法問題などの基礎的な問題については、あまり時間をかけずに解答するなど、時間配分に気をつけ、長文問題で時間切れとならないよう気をつけましょう。

### 《推薦入試について》

課題作文を出願時に提出してもらいます。作文のテーマは12月中旬に発表します。字数制限は600字。今までのテーマには、「苦しいときに気づく、人のありがたさ」「人と一緒にいられる喜び」「真剣に取り組んだこと」などがあります。面接では、課題作文の内容の他に、「志望動機」や「中学生生活の思い出」「高校生活をどう過ごしていきたいか」などの質問をします。自分自身の言葉で、思いや考えを伝えてください。

### 《書類選考について》

昨年度入試から、事前に「志望理由書」および「課題作文」を提出してもらうことになりました。課題作文の字数は600字。昨年度は、国内外で起きたニュースや出来事についての意見を述べてもらいました。

